

各 位

会 社 名 株式会社 うかい
 代表者名 代表取締役社長 大工原 正伸
 (コード番号: 7621)
 問合せ先 取締役管理部長 潮 一生
 電 話 (042) 666-3333

第 2 四半期累計期間業績予想値との差異並びに通期業績予想の修正 及び繰延税金資産の取崩しに関するお知らせ

平成 22 年 5 月 20 日に公表いたしました平成 23 年 3 月期第 2 四半期累計期間（連結・個別）の業績予想値と実数値との差異並びに平成 23 年 3 月期通期（連結・個別）の業績予想について修正いたしますのでお知らせいたします。

また、平成 23 年 3 月期第 2 四半期連結会計期間において、繰延税金資産を一部取り崩すこととなりましたので、その概要を併せてお知らせいたします。

記

(単位: 百万円)

1. 第 2 四半期累計期間業績予想値と実数値との差異

平成 23 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間（平成 22 年 4 月 1 日～平成 22 年 9 月 30 日）

①連結業績

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	6,380	280	215	16	3 円 25 銭
実 績 値 (B)	6,110	152	79	△268	△54 円 48 銭
増 減 額 (B-A)	△269	△127	△135	△284	—
増 減 率 (%)	△4.2	△45.6	△63.1	—	—
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 22 年 3 月期第 2 四半期)	6,178	142	59	△33	△6 円 62 銭

②個別業績

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	5,940	230	178	15	3 円 05 銭
実 績 値 (B)	5,707	115	52	△266	△54 円 05 銭
増 減 額 (B-A)	△232	△114	△125	△281	—
増 減 率 (%)	△3.9	△49.8	△70.2	—	—
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 22 年 3 月期第 2 四半期)	5,751	122	52	△35	△7 円 00 銭

(差異が生じた理由)

第 2 四半期累計期間におけるわが国の経済は、一部の経済指標において景気の回復がみられるものの、急激な為替相場の変動や株価の下落等により不安定な状態にあり、生活防衛意識による消費者の節約志向の意識は依然として高く、デフレ基調による低価格化が一層強まるなど、当社を取巻く環境は厳しい状況が続いております。

上記の環境の中、売上高は、飲食事業、文化事業共に来客数の減少を受け、前回の予想を下回る結果となりました。利益面につきましては、経費の圧縮に努めているものの人件費や賃借料などの固定費が占める割

合が大きいこと、また福利厚生 of 構造改革の施策として、当第2四半期累計期間にイニシャルコストを織り込んだこと等により、営業利益、経常利益とも前回発表予想より下回りました。当期純利益につきましては、繰延税金資産の取崩しの影響により、前回発表予想を大幅に下回っております。

2. 通期業績予想の修正

平成23年3月期通期（平成22年4月1日～平成23年3月31日）

①連結業績

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	12,690	540	380	100	20円31銭
今回修正予想（B）	12,300	325	170	△230	△46円71銭
増減額（B－A）	△390	△215	△210	△330	—
増減率（%）	△3.1	△39.8	△55.3	—	—
（ご参考）前期通期実績 （平成22年3月期通期）	12,312	464	312	96	19円12銭

②個別業績

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	11,900	478	346	100	20円31銭
今回修正予想（B）	11,550	280	150	△225	△45円70銭
増減額（B－A）	△350	△198	△196	△325	—
増減率（%）	△2.9	△41.4	△56.6	—	—
（ご参考）前期通期実績 （平成22年3月期通期）	11,539	441	315	97	19円37銭

（修正が生じた理由）

通期の業績につきましては、第2四半期累計期間における業績予想の修正に加え、第3四半期以降の来客数が当初予定よりも減少すると見込まれ、売上高を見直した結果、前回予想より連結で売上高は390百万円減少、それに伴い営業利益は215百万円減少、経常利益は210百万円減少、当期純利益は330百万円減少の見込みとなりました。

3. 繰延税金資産の取崩しについて

当社は税効果会計に係わる会計基準に従って繰延税金資産を計上しておりますが、繰延税金資産の回収可能性につきまして慎重に検討いたしました結果、回収期間内に十分な課税所得が見込めないことが予想されるため、繰延税金資産の一部を取崩し法人税調整額等に202百万円を計上することとしました。なお、繰延税金資産の取崩しは当期のみの一過性のものです。

※上記の予想につきましては、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき、当社で判断した予測であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。そのため、様々な要因の変化により、実際の業績が記載の予想と大幅に異なる可能性があります。

以上